

特別企画：第 10 回 福島県内企業のメインバンク実態調査(2020 年)

東邦銀行がトップを堅持、シェア 4 割でトップ

～上位 10 行中 9 行が地元金融機関、シェア 8 割～

はじめに

日本銀行のマイナス金利政策による超低金利の長期化が響き、金融機関にとって厳しい経営環境が続いている。加えて、新型コロナウイルスの感染拡大という想定外の事態にも直面し、融資先企業の業績悪化などから与信費用が増加するなど逆風が吹いている。

こうしたなか、今年 9 月の菅政権誕生以降、金融機関の再編圧力が高まり、生き残り競争が加速している。東北においても昨年の「福島銀行」に続き、今年 11 月に「仙台銀行」と「きらやか銀行」を傘下に持つ、じもとホールディングス（仙台市青葉区）が、「第 4 のメガバンク構想」を掲げる金融サービス大手 SBI ホールディングス（東京都港区）と資本業務提携を結ぶことを発表。環境変化が加速するなか、長期で安定した資金供給や債権管理、経営支援を通じた成長が期待できる取引企業の確保は、金融機関にとってこれまで以上に重要となってくる。

帝国データバンク郡山支店では、2020 年 10 月末日時点の企業概要データベース COSMOS2（全国 147 万社収録、特殊法人・個人事業主含む）から、福島県内の企業（約 2 万 2800 社）がメインバンクと認識している金融機関について抽出し集計した。

なお、福島県内における同調査は 2019 年 12 月に次いで 10 回目。

※本調査は帝国データバンクが独自に調査・保有している企業概要データベース「COSMOS2」に収録された企業データであるため、各金融機関がメインとして認識する実数とは異なる。また、1 企業に複数のメインがあるケースでは、当該企業が最上位として認識している金融機関をメインバンクとして集計した。

調査結果（要旨）

1. 福島県内の企業約 2 万 2800 社のうち、各企業がメインバンクとして認識している金融機関で最も多かったのは、**東邦銀行**（福島市）の 9282 社で、シェア（構成比）は 40.70%。
2. シェア上位 10 行では、5 位の**常陽銀行**（水戸市）以外の 9 行を地元金融機関が占めた。
3. 主要業種別でも**東邦銀行**が全業種で 1 位。上位 3 行はすべて地元金融機関。
4. 売上規模別でも**東邦銀行**がすべて 1 位。一方、年商「50 億円以上」では、上位 10 行中 6 行が県外。

1. 上位20行 ～上位4行が地元金融機関、順位は前年と同一

福島県内の企業がメインバンクと認識している上位20行は表1の通り。1位は、**東邦銀行**（福島市）で9282社、シェアにして40.70%を占めた。2位は、**大東銀行**（郡山市）2218社、同9.72%、3位は、**福島銀行**（福島市）1886社、同8.27%、4位は、**福島信金**（福島市）1246社、同5.46%の順。上位4行を地元金融機関が占め、シェア合計は全体の6割強（64.15%）となった。

地元の有力金融機関の強さが目立っており、特に1位の**東邦銀行**は2位以下を大きく引き離し、約4割のシェアを占めた。福島県全体をカバーする店舗網と多くの取引先を有する同行の県内における強さが裏付けられた。

5位は、唯一の県外金融機関としてトップテン入りを果たした茨城県を地盤とする**常陽銀行**（水戸市）906社、同3.97%となり、上位10行中9行が地元金融機関でシェアは78.59%と約8割を占めた。上位20行の順位は前年と同一だった。

表1 福島県メインバンク社数 上位20行

2020年					2019年			
順位	金融機関	社数	シェア	前年比	順位	社数	シェア	前年比
		(社)		(pt)		(社)		(pt)
1	東邦	9,282	40.70%	+0.10	1	9,326	40.60%	+0.08
2	大東	2,218	9.72%	▲ 0.12	2	2,260	9.84%	▲ 0.06
3	福島	1,886	8.27%	▲ 0.03	3	1,906	8.30%	▲ 0.06
4	福島信金	1,246	5.46%	▲ 0.01	4	1,256	5.47%	▲ 0.07
5	常陽	906	3.97%	▲ 0.07	5	927	4.04%	+0.06
6	ひまわり信金	817	3.58%	▲ 0.03	6	830	3.61%	+0.02
7	郡山信金	692	3.03%	▲ 0.02	7	700	3.05%	±0.00
8	須賀川信金	676	2.96%	+0.06	8	665	2.90%	+0.05
9	いわき信組	569	2.49%	+0.04	9	562	2.45%	▲ 0.01
10	会津信金	543	2.38%	+0.01	10	544	2.37%	▲ 0.04
11	白河信金	538	2.36%	+0.03	11	536	2.33%	+0.02
12	福島県商工信組	481	2.11%	▲ 0.01	12	486	2.12%	▲ 0.01
13	二本松信金	398	1.75%	+0.01	13	400	1.74%	+0.01
14	七十七	359	1.57%	▲ 0.04	14	369	1.61%	▲ 0.01
15	みずほ	345	1.51%	▲ 0.01	15	350	1.52%	▲ 0.07
16	あぶくま信金	308	1.35%	+0.02	16	305	1.33%	+0.03
17	会津商工信組	213	0.93%	▲ 0.03	17	220	0.96%	+0.01
18	秋田	176	0.77%	+0.01	18	175	0.76%	▲ 0.03
19	相双五城信組	101	0.44%	+0.02	19	97	0.42%	±0.00
20	ふくしま未来農協	79	0.35%	▲ 0.01	20	82	0.36%	+0.02

2. 業種別 ～すべて東邦銀行がトップ、「卸売」「サービス」で特に高い

主要業種別の上位行は表2の通り。全業種とも1位が**東邦銀行**となり、2位以下を大きく引き離している。全業種とも上位3行は地元金融機関（**東邦銀行・大東銀行・福島銀行**）。

表2（主要業種別上位行）

建設			
順位	金融機関名	社数	シェア(%)
1	東邦	3,127	38.97%
2	大東	903	11.25%
3	福島	740	9.22%
4	福島信金	462	5.76%
5	ひまわり信金	351	4.37%
6	郡山信金	284	3.54%
7	いわき信組	268	3.34%
8	常陽	267	3.33%
9	須賀川信金	236	2.94%
10	会津信金	194	2.42%
合計		8,024	

製造			
順位	金融機関名	社数	シェア(%)
1	東邦	869	39.55%
2	福島	191	8.69%
3	大東	179	8.15%
4	福島信金	126	5.74%
5	常陽	125	5.69%
6	須賀川信金	83	3.78%
7	ひまわり信金	71	3.23%
8	白河信金	62	2.82%
9	会津信金	59	2.69%
10	みずほ	51	2.32%
合計		2,197	

卸売			
順位	金融機関名	社数	シェア(%)
1	東邦	907	46.92%
2	大東	174	9.00%
3	福島	142	7.35%
4	常陽	109	5.64%
5	福島信金	74	3.83%
6	ひまわり信金	58	3.00%
7	郡山信金	52	2.69%
8	会津信金	41	2.12%
	須賀川信金	41	2.12%
	福島県商工信組	41	2.12%
合計		1,933	

小売			
順位	金融機関名	社数	シェア(%)
1	東邦	1,189	37.21%
2	大東	327	10.23%
3	福島	263	8.23%
4	福島信金	206	6.45%
5	常陽	124	3.88%
6	ひまわり信金	116	3.63%
7	会津信金	110	3.44%
8	須賀川信金	101	3.16%
9	郡山信金	96	3.00%
10	白河信金	87	2.72%
合計		3,195	

不動産			
順位	金融機関名	社数	シェア(%)
1	東邦	421	40.65%
2	大東	87	8.41%
3	福島	79	7.64%
4	福島信金	70	6.77%
5	いわき信組	44	4.26%
6	須賀川信金	38	3.68%
7	常陽	35	3.39%
8	ひまわり信金	33	3.20%
9	福島県商工信組	32	3.10%
10	郡山信金	30	2.91%
合計		1,036	

運輸・通信			
順位	金融機関名	社数	シェア(%)
1	東邦	288	38.15%
2	大東	70	9.27%
3	福島	61	8.08%
4	常陽	45	5.96%
5	須賀川信金	35	4.64%
6	福島信金	32	4.24%
	福島県商工信組	32	4.24%
8	郡山信金	28	3.71%
	ひまわり信金	28	3.71%
10	白河信金	26	3.44%
合計		755	

サービス			
順位	金融機関名	社数	シェア(%)
1	東邦	2,291	45.55%
2	大東	439	8.73%
3	福島	380	7.55%
4	福島信金	256	5.09%
5	常陽	185	3.68%
6	郡山信金	146	2.90%
7	ひまわり信金	144	2.86%
8	須賀川信金	122	2.43%
9	福島県商工信組	102	2.03%
10	みずほ	98	1.95%
合計		5,030	

3. 売上規模別 ～東邦銀行がすべてトップ、「50 億円以上」では県外が上位に

融資先の売上規模別の上位行は表3の通り。ここでも、**東邦銀行**が全売上規模で2位以下を引き離してトップのシェアを確保、小規模から中堅・大規模企業まで幅広く融資先を有している。売上規模が大きくなるにつれ県外金融機関の存在が目立つようになり、「50 億円以上」では、上位10行中6行を県外金融機関が占め、**みずほ銀行**が構成比7.14%で2位となっている。

表3（売上規模別上位行）

5000万円未満

順位	金融機関名	社数	シェア(%)
1	東邦	3,631	39.31%
2	大東	942	10.20%
3	福島	767	8.30%
4	福島信金	581	6.29%
5	ひまわり信金	385	4.17%
6	郡山信金	324	3.51%
7	須賀川信金	303	3.28%
8	白河信金	262	2.84%
9	会津信金	256	2.77%
10	常陽	240	2.60%
合計		9,237	

5000万円以上1億円未満

順位	金融機関名	社数	シェア(%)
1	東邦	1,618	38.86%
2	大東	457	10.98%
3	福島	355	8.53%
4	福島信金	252	6.05%
5	ひまわり信金	167	4.01%
6	郡山信金	137	3.29%
7	須賀川信金	132	3.17%
8	常陽	128	3.07%
9	会津信金	110	2.64%
10	福島県商工信組	108	2.59%
合計		4,164	

1億円以上5億円未満

順位	金融機関名	社数	シェア(%)
1	東邦	2,695	40.58%
2	大東	642	9.67%
3	福島	580	8.73%
4	常陽	355	5.34%
5	福島信金	340	5.12%
6	ひまわり信金	208	3.13%
7	須賀川信金	196	2.95%
8	いわき信組	188	2.83%
9	郡山信金	183	2.76%
10	会津信金	144	2.17%
合計		6,642	

5億円以上10億円未満

順位	金融機関名	社数	シェア(%)
1	東邦	555	44.01%
2	大東	108	8.56%
3	福島	107	8.49%
4	常陽	83	6.58%
5	福島信金	46	3.65%
6	ひまわり信金	34	2.70%
7	七十七	31	2.46%
8	須賀川信金	28	2.22%
9	秋田 郡山信金	27	2.14%
合計		1,261	

10億円以上50億円未満

順位	金融機関名	社数	シェア(%)
1	東邦	576	52.65%
2	常陽	79	7.22%
3	福島	67	6.12%
4	大東	58	5.30%
5	みずほ	42	3.84%
6	七十七	23	2.10%
7	福島信金	21	1.92%
8	ひまわり信金	20	1.83%
9	郡山信金 須賀川信金	16	1.46%
合計		1,094	

50億円以上

順位	金融機関名	社数	シェア(%)
1	東邦	140	47.62%
2	みずほ	21	7.14%
3	常陽	18	6.12%
4	三菱UFJ	9	3.06%
5	三井住友 七十七	8	2.72%
7	福島 農林中金	5	1.70%
9	大東	4	1.36%
10	福島信金	3	1.02%
合計		294	

4. まとめ ～東邦銀行が圧倒的なシェア、地元金融機関が強さ示す

東邦銀行が業種別、売上規模別ともに2位以下を引き離して圧倒的なシェアを示した。また、メイン取引企業数トップテン中、5位の**常陽銀行**以外の9行を地元金融機関が占め、シェアは全体の約8割となり、地元金融機関が強さを示した。

日本銀行のマイナス金利政策による超低金利の長期化を背景に、上場地方銀行の2020年9月期中間決算では、約6割で最終損益が減益・赤字となった。全国に比べて人口減少が深刻化している東北の地域金融機関にとっては、一層利益確保が困難な経営環境となっており、店舗統廃合や人員削減を推し進めるコスト圧縮や、Fintech（フィンテック）などIT化の推進、活動基盤の拡大に伴う越境融資など、攻防を含めた生き残り策を続けてきている。こうした状況下において、今年コロナ禍が加わり、先行き不透明感が増す地域経済にとって、地域金融機関の役割はますます重要になってきている。

中小企業では、事業承継や創業支援などコンサルティングメニューの充実など、低金利での融資以外に求める金融サービスのニーズが依然根強い。インターネットやスマートフォンの普及を背景に、IT技術を活用し店舗網を持たないネット銀行の攻勢も強まり、メインバンクとしてネット銀行を選択する企業も増加している。地域によってはコロナ融資などで地域密着型の金融機関をより選択する傾向もあり、金利競争以外の魅力度を高めた金融機関が様々な課題を持つ企業から幅広い支持を得る形でメインバンクシェアに変化が訪れる可能性がある。

【内容に関する問い合わせ先】

株式会社帝国データバンク 郡山支店 担当：西迫 耕一郎

TEL 024-923-2442 FAX 024-923-2669

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。